



京都府立南山城支援学校

令和4年度 NO3.〈8月号〉

## 南山城相談支援センターニュース

### ★ICT を活用した読み書き支援の紹介★



今年度も、京都府総合教育センターと協力して、読み書きに困難のある児童生徒への ICT を活用した支援のあり方についての研究をしています。

例えば、読む事が難しい児童生徒の場合は、教科書や資料のデータを ICT 機器に入れて、機械が読み上げたものを聞いて学ぶ方法が考えられます。書くことが難しい場合は、キーボードやタブレットを使ってノートテイクや作文、テストの回答をしたりすることが考えられます。

東京大学先端科学技術研究センター 近藤 武夫 教授や、京都教育大学総合教育臨床センター 相澤 雅文 教授に助言をいただきながら、研究を進めています。

読み書きの困難の様子は、一人一人異なるので、その児童生徒に合った使い方を考えることが大切になります。今年度の研究の公募はすでに終了していますが、ICT を活用した読み書き支援に関する相談については、受け付けておりますので、お気軽に相談支援センターにお問い合わせください。



これまでの研究成果はこちらから  
(京都府総合教育センターHP)

### ★活動報告～中学校における理解教育～★

7月8日(金)に木津中学校において、理解教育の授業を行いました。読むことや書くことについての困難(LD)をテーマにして、3年生全員を対象として授業を行いました。

講義の前半には、読むことの困難や書くことの困難の疑似体験を行い、それらの困難さがあると、どのような気持ちになるのかを体験してもらいました。

講義の後半は、社会や大学、高等学校でどのような『合理的配慮』が提供されているのかを伝え、必要があれば定期試験や高校受験でも合理的配慮を受けられることを話しました。



木津中学校の先生方からは「自分の周りにはいろいろな人がいることを理解するきっかけになったと思います」「『読みにくさ、書きにくさ』だけでなく身の回りのいろいろなことについても生徒たちが考えるきっかけになったと思います」等の感想をいただきました。

## ★活動報告～夏の研修会～★

8月3日（水）に、夏の研修会を行いました。今年度は井手やまぶき支援学校と協力して、午前中に就学前の子どもたちの指導・支援をテーマにした研修会を実施し、午後に小中高等学校における指導・支援をテーマにした研修会を実施しました。

午前中は、四條畷学園大学 リハビリテーション学部の宮嶋 愛弓 先生を講師として招聘し、子どもが食を楽しむための支援について御講義いただきました。偏食への対応方法の基本的な考え方について御講義いただいた後、ピーマンや玉ねぎなど、子どもが苦手と思しやすい食材をどのように食べやすく調理するのか、実演しました。参加いただいた方からは「具体的な支援方法で、とても勉強になりました。ゆったり楽しんでこどもに関わることが大切だと思いました」や「クッキングが実際に見れて良かったです。我が家でやってみようと思いました」等の感想がありました。

午  
前  
の  
部



午  
後  
の  
部



午後は広島大学大学院人間社会科学研究科の湯澤 正通 先生に来ていただき、「ワーキングメモリ」に焦点を当てて、様々な実態の児童生徒全員が参加しやすい授業作りについて御講義いただきました。

参加いただいた先生方からは「授業の中で行っている学習支援がなぜ有効なのかが、理論からよく分かりました」や「子どもが困っていることをどのように解決したり、対応したりすれば良いのか、いろいろな支援の方法が分かりました」などの感想がありました。



## ★書籍の紹介★

南山城相談支援センターに新しい書籍が入りました。

書名：通常学級の『特別』ではない支援教育－校内外支援体制・ユニバーサルデザイン・合理的配慮－  
著者：佐藤 慎二（植草学園短期大学 こども未来学科長 放送大学客員教授）

小中高等学校でできる、特別な支援を必要とする子どもも含めた、全ての子どもたちが参加しやすく、学びやすい授業づくりについて書かれています。  
授業づくりのコツや、校内の支援体制の作り方などが具体的にわかりやすく書かれていて、すぐに実践に生かすことができます。



スクールキャラクター

「みなみちゃん」

相談支援センター内に資料や支援グッズの展示コーナーを作りました。  
お立ち寄りの際は、是非ご覧ください。

